Global Technology Initiative

GTI
コンソーシアム

人材育成・イノベーション創出

GTI Consortium

グローバル理工系人材育成のプラットフォーム

GTIコンソーシアム
代表　**山田　純**
（芝浦工業大学 学長）

世界のグローバル化が進んでいることは言うまでもありませんが、世界の一部地域で起きた出来事が、世界経済や物流を震撼させるほどの影響をおよぼすことを目の当たりにすると、世界は相互に依存し合うことで成り立っていることを実感させられます。そのような現在において、持続的に世界を発展させていくためには、異なる文化を尊重し、異なる背景を持つ人々と協調しながら世界の課題を解決できる人材が求められています。

大学はこれまで、そのような学生を育成するために、各国の大学と交換留学制度を設けるなど積極的に留学を推進してきました。また、どの国の政府もこれを援助してきました。産業界からも、グローバル化が進む社会に対応していくために、大学に国際社会で活躍できる人材を育成してほしいとの要望が高まっています。

一方、大学は教育機関としてだけでなく、研究機関としての責務も担っています。産業の急速な発展、高度化に伴い、企業は大学の‘知’の活用に目を向け出したこと、また、大学としては社会の要請に応えることで研究成果を還元できることから、どの大学においても盛んに産学共同研究が進められています。実は、このことは、学生にとっても好ましい教育効果があることが分かっています。学生は、共同研究という場を通じて、技術者・研究者としてのスキルや知識を身につけるだけでなく、実践経験を得ることができるからです。このように産業界との連携が高い質の教育をもたらすこともあって、政府も共同研究の推進に力を注いできました。近年では、教育カリキュラムの設計に産業界の意見を取り入れることや、ある一定以上の企業経験者を教員として迎え入れることなどを推奨しています。

GTIコンソーシアム（Global Technology Initiative Consortium）は、以上のような背景を踏まえ、より密接に産学官が連携することで世界の将来を担う理工系人材を育成することを目標に 2015 年に設立されました。産業においても、また、学生交流においても繋がりの深い東南アジア諸国を中心に、グローバル理工系人材育成のプラットフォームとしての役割を担ってまいります。

目　　的

理工学教育の質の向上	国内外の産学官が連携し、実践的な教育を提供することで、理工学教育の質を向上させます。
人材の育成と輩出	質保証された理工学教育により、グローバルエンジニアを育成し輩出します。
イノベーションの創出	グローバルエンジニアが世界をフィールドに活躍することで、イノベーションを創出します。
産業競争力の強化	グローバルエンジニアによって創出されたイノベーションにより、産業競争力を強化します。

主な活動内容

1　グローバルPBL（国際プロジェクト実践教育）

GTIコンソーシアムに加盟する大学の学生が、複数の国籍からなるチームを形成し、企業における現場の課題や途上国が直面する社会課題などを取り上げ、課題解決のための方策を議論し、成果発表を行います。課題の設定や解決方法の議論は、大学教員および企業、政府等からの派遣講師の指導の下で行い、問題解決能力を有するグローバル理工系人材の育成を目指します。

2　国際インターンシップ

自国外のオフィスや工場などで学生が実習することで、文化や考え方の多様性を体験し、多面的な視点からものごとを俯瞰する能力を育成するとともに、現場における課題発見や問題解決実習を通して、グローバル理工系人材を育成します。

3　国際共同研究

GTIコンソーシアムの加盟大学および企業による、東南アジアや世界の持続的発展などに関する国際共同研究を推進します。

4　政府間協力プロジェクト

各国の開発支援プロジェクトや研究協力プロジェクトにGTIコンソーシアムの加盟機関が参画するとともに、GTIコンソーシアムから各国のニーズに即した政府間協力プロジェクトの提案を行います。

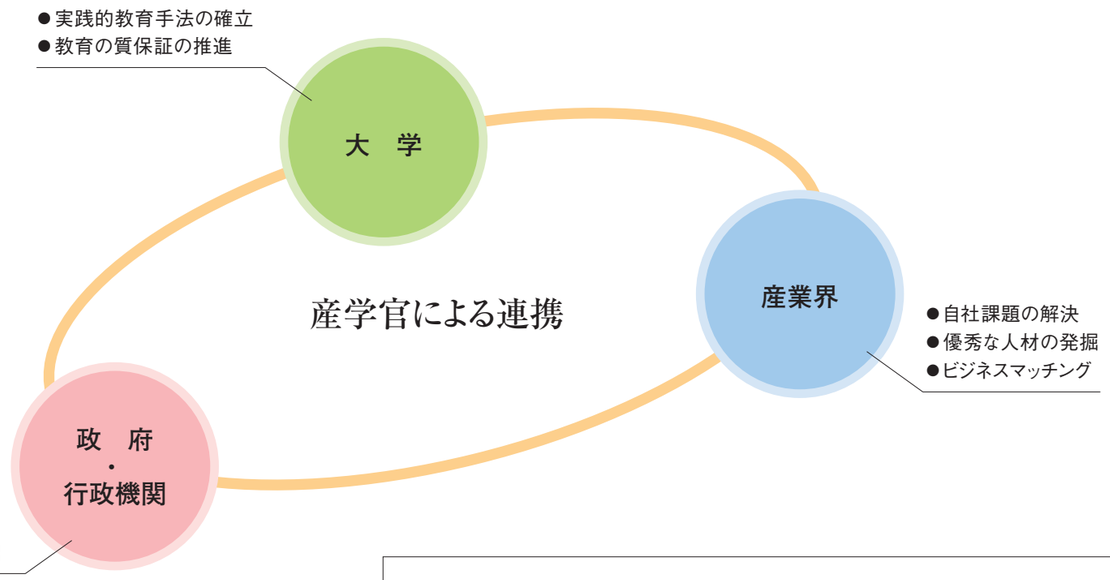
5　大学間国際連携

GTIコンソーシアムに加盟する大学間での教員の相互交流、日本のものづくり技術を基幹とするグローバル工学教育の普及、海外大学院生の日本での学位取得や大学間での共同学位の取得などを進め、国際交流を推進します。

6　GTIコンソーシアムシンポジウム

GTIコンソーシアムにおける諸活動の情報共有とさらなる発展を目的として、年に1回シンポジウムを開催します。国内外の政府機関、産業界、大学関係者からの講演、およびコンソーシアムにおける諸活動の成果報告などを主な内容とします。

※個別の活動において発生する費用負担、機密情報の保護管理、知的財産等の成果物の取扱い、その他の必要事項については、当事者間で取扱いを定め、各当事者の責任のもと運用管理していただきます。



コンソーシアムへの加盟について

GTIコンソーシアムでは、主旨にご賛同いただける企業や団体の皆様の加盟をお待ちしております。
コンソーシアムにおいて得られた産学官連携活動の成果や経験を財産として捉え、加盟いただいた皆様と共有させていただきます。

加盟条件	1．GTIコンソーシアムの主旨にご賛同いただいていること 2．企業、大学、機関・団体等法人格を有していること 3．GTIコンソーシアムにおける今後の活動に、協働で参画いただけること
会費など	入会金や年会費は徴収いたしません。 ただし、シンポジウムなどに参加する際に発生する諸経費（交通費など）は自己負担となります。
申し込み方法	GTIコンソーシアムの主旨にご賛同いただき参加ご希望の場合は、下記URLよりお申し込み手続きを進めてください。 http://www.gti-consortium.jp

GTIコンソーシアム運営委員

株式会社IHI
株式会社NTTデータ
東京東信用金庫
ボッシュ株式会社
株式会社三井住友銀行
三井住友建設株式会社
三菱電機株式会社
独立行政法人国際協力機構
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
独立行政法人日本貿易振興機構
工学院大学
芝浦工業大学
東京電機大学
東京都市大学
福岡工業大学

アドバイザリーメンバー

ハノイ理工科大学	（ベトナム／ハノイ）
ホーチミン市工科大学	（ベトナム／ホーチミン）
キングモンクット工科大学トンブリ校	（タイ／バンコク）
スラナリー工科大学	（タイ／ナコンラチャシマ）
泰日工業大学	（タイ／バンコク）
マレーシア工科大学	（マレーシア／ジョホールバル、クアラルンプール）
マレーシア日本国際工科院	（マレーシア／クアラルンプール）
ガジャマダ大学	（インドネシア／ジョグジャカルタ）
バンドン工科大学	（インドネシア／バンドン）

GTI Consortium

GTIコンソーシアム事務局
（芝浦工業大学　国際部）
〒135-8548　東京都江東区豊洲3-7-5
ＴＥＬ　03-5859-7140
E-mail　gti-consortium@ow.shibaura-it.ac.jp
ＵＲＬ　http://www.gti-consortium.jp